

令和5年第1回定例記者会見 概要

令和5年2月20日(月)10時30分～
鶴ヶ島市役所(3階)庁議室

1 令和5年第1回鶴ヶ島市議会定例会について

(1) 会期

2月21日(火)～3月20日(火)(会期28日間)

(2) 一般質問

3月13日(月)・14日(火)・16日(木)の3日間/13名の議員が質問

(3) 付議予定議案(議案34件/報告1件)

〈主な議案等〉

① 令和5年度鶴ヶ島市一般会計予算について

予算総額 226億1,000万円

【概要説明】

一般会計は、総額226億1,000万円、前年度比6億2,000万円、2.8パーセントの増となり、2年連続で前年度を上回る予算規模、過去最大の当初予算となりました。

令和5年度はポストコロナに向けた大きな転換点となる年です。市を取り巻く社会情勢の変化に柔軟に対応しながら、着実に各施策を進めていくため、引き続き、「支援の継続」、「躍進」、「構造の転換」の3つを柱に掲げ、事業を予算化し、「しあわせ共感 安心のまち つるがしま」の実現を目指します。

② 令和4年度鶴ヶ島市一般会計補正予算(第9号)について

補正予算額 3億8,664万6千円の増額

補正後の予算総額 252億7,364万2千円

【概要説明】

一般会計は、3億8,664万6千円増の252億7,364万2千円となりました。

令和4年度歳入歳出予算を精査したほか、障害者自立支援給付等事業に要する経費4,878万5千円、鶴ヶ島グリーンパーク施設整備事業に要する経費1,609万3千円などを計上しています。

2 鶴ヶ島市からのお知らせ

(1) 令和5年度当初予算・3つのポイント

その1 市独自の経済的支援も！出産・子育て・教育環境をさらに充実します

市では、少子化対策として、新たに市独自の取組を実施するなど、出産・子育て支援を強化します。また、これまで調査検討を進めてきた学校再編が本格的に始動するほか、水泳の授業について、新たな方法を試行するなど、教育環境のさらなる充実を図ります。

① 赤ちゃんの誕生を祝品と応援金でお祝いします！

「**新**ふるさと鶴ヶ島誕生祝い事業」

② 学校再編に向け、いよいよ事業に着手します！

「**新**鶴ヶ島中学校施設改修事業」「**新**中学校再編事務費」「**新**西中学校活用推進事業」

③ 授業の充実へ！民間スイミングスクールでの水泳授業を試行します！

「**新**小・中学校水泳指導方法検討事業」

その2 ポストコロナへさらに充実！市民の健康づくりを応援します

シルバーeスポーツの取組など、市では意欲的な健康づくり事業を展開しています。新年度はこれに新たな取組を加えるほか、施設面も充実させます。コロナ禍で外出自粛を余儀なくされた市民が、コロナ前にも増して健康づくりに励まれるよう応援します。

④ シルバーeスポーツ × スマホよろず相談で元気なシニアを増やします！

「健康長寿推進事業」

⑤ 夜間照明灯の設置で、運動場機能をさらに充実させます！

「**新**鶴ヶ島グリーンパーク施設整備事業」

その3 市民とともに！魅力あるまちづくりを進めます

(株)関水金属と連携して鶴ヶ丘児童公園を再整備するほか、地域の方々と進めた鶴ヶ島駅周辺地区のまちづくりについて、整備計画を作成し具現化を目指します。また、ワークショップを開催し地域の方々と意見交換した若葉駅西口の街区公園について、整備工事を実施します。

⑥ 鶴ヶ島駅周辺地区のまちづくりが進行中です！

「鶴ヶ丘児童公園整備事業」「鶴ヶ島駅周辺地区まちづくり構想等策定事業」

⑦ 市民と一緒に考えた新しい公園の整備が始まります！

「**新**公園整備事業」

(2) 鶴ヶ島市「人と地球にやさしい3つの取組」

鶴ヶ島市は、人と地球環境にやさしく持続可能なまちづくりを目指していきます。

①「障害者コミュニケーションの支援」

共生社会の実現に向けて、議会第1回定例会（3月議会）に障害者のコミュニケーション支援条例と手話言語条例の条例案を提出します。

②「パートナーシップ・ファミリーシップ制度の導入」

制度の導入により、一人一人がお互いの人権を尊重し、多様な生き方や価値観を認め合い誰もが自分らしく生き生きと生活できる社会の実現を目指します。

③「ゼロカーボンへの挑戦」 ※資料別添

市では新たな環境基本計画の策定に合わせ、脱炭素に向けた取組に踏み出します。3月9日にはゼロカーボンシティ宣言を行うほか、ガス事業者との間で連携協定を締結します。

(3) 市の主な動きとこれからの行事

① 圏央鶴ヶ島ICがフルインター化。アクセス道路も4車線となり、3月25日に開通します！

② 4年ぶり！「第39回鶴ヶ島桜まつり」を開催します！